



支える人々 Part II (2) やまびこ会

指導者
新谷 慶さん



やまびこ会をキーボードで指導くださる新谷 慶さん

「やまびこ会」が入居者の方々と毎週木曜日の朝に歌い交してもう20年近くになります。

初めは前任者のリーダーがギター片手に指導していたのを、私が受け継いで音楽療法を加味して楽しくやっています。

曲目は160曲を準備していて、多くは昭和時代又それ以前の曲に、新しい歌、民謡、聖歌等を加えています。職員の方には会場の準備をしていただき、こちらからは入居者を会場へお連れくださるボランティアの方々7人が毎週参加してお手伝いくださっています。時々地域の高校や介護専門学校の生徒の方々もお手伝いして下さるのですが、歌については全く時代のズレで歌えません。

「やまびこ会」で歌い出す最初の歌は、誰でもよく知っていて歌詞を見なくても歌える歌から、1人ずつ順に歌ってもらいますので皆さんの顔が明るくなります。歌にはこうした力があり

ます。踊りも良いので、手足を少しづつでも動かすようにしています。

歌の中では特に子守歌の力が大きいと思います。私達、昭和の子時代は母親の胸で子守歌が身近にあったものです。子守歌には古いものから遠い地方の歌もありますが、その歌詞とメロディーは本当に日本の心を伝えるものとなっています。

皆さんの協力で「やまびこ会」を続けて参りましょう。ありがとうございます。



ボランティアの皆さん。いつもありがとうございます

リレーエッセイ(25) 「一眼レフで写真撮影」

介護職員
稗田 健人



愛用のカメラとレンズ。いつも美しい風景を見せてくれます

私は、デジタル一眼レフカメラを持ってたまに写真を撮りに出かけることがあります。これまで姫路城や神戸港、阪神甲子園球場等々に足を運んで、写真を撮ってきました。また紀南の海や山はきれいなので、自然の写真を撮りに行くこともあります。

昼間の屋外では、オートで撮ればたいい綺麗に撮れるのですが、夜景を撮ったり、暗い場所や逆光になったりしているときなどはマニュアルで設定して撮ったりしています。

露出補正やISO感度の調整をすることで、暗い対象を明るく撮ることができます。しかし、なかなか暗すぎてしまったり、明るすぎてしまったりと難しいです。シャッタースピードを遅くすれば、スポーツ選手や車などの動きのある写真を撮ることができます。絞りを開いて望遠レンズで離れて撮れば、背景をぼかして対象

をくっきりと撮ることができます。

一眼レフカメラはレンズを取り替えることができるので、私は普段使用する広角レンズの他に、遠くにいる野鳥を撮るときなどは望遠レンズを使います。できるだけ機会をみつけて写真を撮りにいきたいと思っています。

今回は9ユニットの三栖照美さんをお願いします。



夕暮れの大阪城。立体感が際立っています！

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

8～9月の愛の園

- 10(日) 日曜礼拝
- 12(火) マリア会
- 14(木) やまびこ会
- 15(金) 社協ボランティア来園
- 17(日) 日曜礼拝
- 19(火) ひまわり会
- 20(水) 手芸サークル
- 21(木) やまびこ会
- 24(日) 日曜礼拝
- 26(火) マリア会
- 27(水) 歯科診療
- 28(木) やまびこ会
- 31(日) 日曜礼拝

- 2(火) マリア会
- 4(木) やまびこ会
- 7(日) 日曜礼拝 「一日我が家」

編集者から

田辺市にある社会福祉法人ふたば福祉会は、県から委託を受けて発達障がい・知的障がいの方々を対象とした介護職員初任者研修を行っています。先月、研修の1時間目として愛の園での施設見学が行われました。

今回は10名の方々が参加され、皆さん初めての特別養護老人ホームの見学で、ユニット型施設とはどのような所なのかを真剣な様子で熱心に見学されていました。この研修会については地元紙にも紹介されていました。

講義、実習、施設見学などのカリキュラムを修了してヘルパー資格を取得し、それぞれが福祉の仕事を通して活躍することが出来るよう頑張っていたきたいと思います。(C)